令和２年7月　第135号

道北支部ニュース

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英

Index

✓新人あいさつ
✓道北支部掲示板
✓道北支部役員会議議事録

新人あいさつ

今年度の新人あいさつは森山メモリアル病院の三浦裕希先生に書いていただきました.

森山メモリアル病院
三浦 裕希

私が理学療法士を目指したきっかけは、小学校の部活で怪我をしたときに整骨院の柔道整復師から施術を受けて、人のためになる職業に魅力を感じたことです.理学療法士の資格を取得してからは医療従事者として学ぶことが多く、日々患者様と関わらせていただく中でどのような立ち居振る舞いをすべきか、どのような評価や治療をすればよいかを考え、試行錯誤しています.

現在私が頑張っていることは、患者様とのコミュニケーションです.患者様は、怪我や病気に対する不安がある状態でリハビリをされています.信頼関係を築き安心していただくためには、傾聴する姿勢、共感する力が必要です.しかし、情報収集のためにこちらからの質問が多くなってしまったり、緊張から少し表情が硬くなってしまったりと上手くいかないことが多い現状です.

これに対して、業務後などの空いた時間に指導者の方々からフィードバックをいただき、良かった点や改善すべき点を確認しながら日々自分の接し方について振り返っています.その結果、笑顔で傾聴する姿勢と、不安を取り除くためのコミュニケーションを徐々に図れるようになってきました.入職してから3ヶ月が経ち、改めて理学療法士は患者様の生活や人生に携わることができるやりがいのある職業だと感じています.持ち前の誠実さ、謙虚さ、穏やかさ、明るさを生かして、患者様に機能面の回復だけではなく元気や生きる希望も与えられるような理学療法士を目指して精進していきます.

道北支部活動報告

北都保健福祉専門学校における コロナの影響とその対策

＜本校の今までの経過＞

現在、本州ではコロナ感染の第2波が来ており、感染が拡大しています。北海道はなんとか持ちこたえている状況ですが、ススキノや昼カラでクラスター発生が起きており、いつ第3波に突入してもおかしくありません。

北海道は2月に鈴木知事が最初の緊急事態宣言を出して、道内の小中高等学校が一斉休校となりました。当校においても、それに準じた対応となり授業やイベント（卒業式や入学式）もすべて中止となりました。昨年度の卒業生は卒業式ができず、寂しい思いをさせてしまいました。

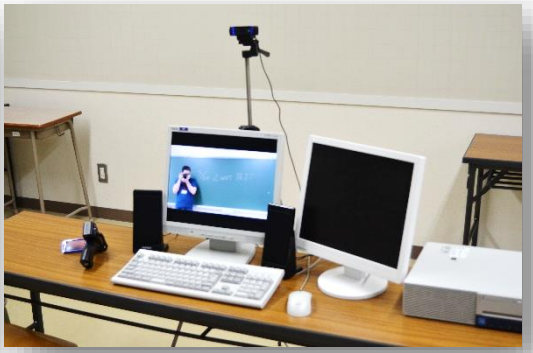
北海道では3月19日に緊急事態宣言が解除されていたため、今年度は4月の第2週目から授業が始まりました。しかし、北海道で第2波が発生し、国が緊急事態宣言を出したため、翌週から当校も再び休校となってしまいました。

このままでは、すべての学年において授業を進めることができないため、学校全体として遠隔授業を準備を急ピッチで進めることとなりました。当校において遠隔授業の前例はないため、最初は試行錯誤の連続でした。その頃は、どこの企業や学校でも在宅ワークやオンライン整備を進めていたため、機材の調達に非常に苦労しました。学内で使っていない機材や教員の私物を応急処置として使用しました。PC操作に不慣れな学生も多いことから、デモ講義からはじめて、なんとか5月の末からとりあえずオンライン授業を開始することができました。

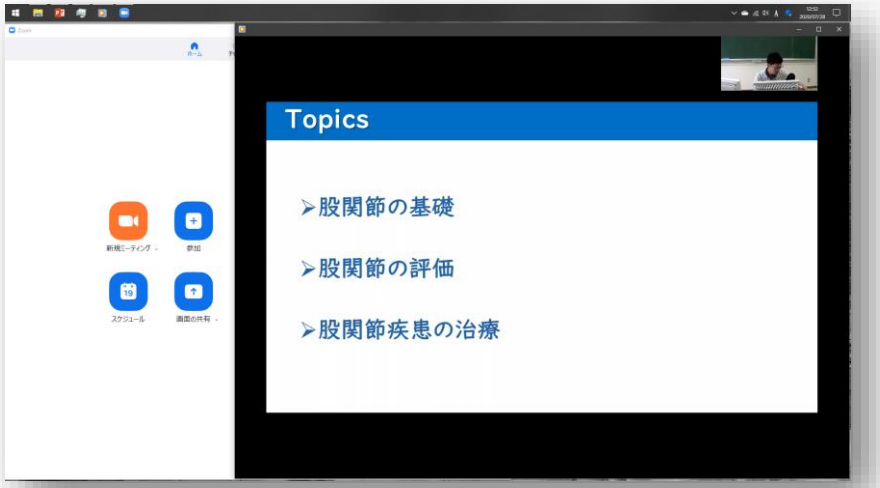
それと同時に、理学療法学科4年生の学内実習が始まりました。当初は時期をずらしての実習も検討していたのですが、実習施設から「このご時世なので学生の受け入れは厳しい」とのご連絡を多数いただきました（当然のことではありますが）。結果、実習受け入れ施設の不足ということもあり、学内実習へと切り替えました。

8週間分の学内実習も前例がなかったため、他の養成校の取り組みを参考にしたりと、実際の患者様をできるだけイメージできるように工夫して、学内実習を進めました。7月上旬に総合実習Ⅰの学内実習を終えました。

授業の様子（画像は看護学科）



オンライン授業の設備



PC画面

＜本校の今現在の主な状況と対策＞

①2020年内の学外実習（4年生の総合実習Ⅰ・Ⅱ、3年生の評価実習）はすべて中止となりました.
→4年生の総合実習はすべて学内実習に振替.総合実習Ⅰに関しては7月3日で終了.総合実習Ⅱの学内実習に関しては9月1日から開始予定です.
3年生の評価実習は年明けに期間を短縮しての実施を検討しております.

＊ 9月1日からの学内実習（総合実習Ⅱに相当）においては臨床の先生方の協力をいただきたいと考えております.患者様のデータ（評価データや動画など）を提供しても構わないという病院・施設の先生方がいましたら、ご連絡をいただけると非常に助かります.ご協力のほど、よろしくお願いいたします.

②7月6日より対面授業（実技系を含む）を再開しています.
対面授業での感染対策として
→対策1 Googleフォームを用いた検温チェックを毎日実施
対策2 学生への感染対策講義の実施
対策3 ソーシャルディスタンスや手指消毒の徹底

当校のホームページにて最新の状況を発信しております!!

道北支部役員会議議事録

会議名：令和2年度 第2回 道北支部役員会議

開催日付 ：令和2年7月6日（月）
時間 ：19:00～20:30
場所 ：Webによる会議
会議出席者：前田、千葉、斎藤、尾形、岩瀧、森谷、片野、近藤、阿部、大西、松岡

【議事内容】

1.事務部報告
支部ニュースは、7月末に発行予定で、新人挨拶は森山メモリアル病院の三浦裕希氏に依頼した。
＜協議事項＞
①支部ニュースの内容に関して、最近はCOVID-19の影響で事業が開催されておらず、載せる話題がなくなってきている。
→COVID-19流行時期の養成校(北都保健福祉専門学校を中心に)の様子や現状を載せることを検討していく。
②新人歓迎交流会は、Zoomでの実施を検討中。新人会員への助成金はどうするか。
→Zoomを行うにあたり、ネット環境が整備されてない会員がいることも考えられ、スマートフォンを利用すると通信料がかかってしまう。そのため、Quoカードを予算として挙げられるか理事会で相談していく。また、例年12月の土曜日に実施している全体集会を、新人歓迎交流会と合わせて行うことも相談していくこととなった。

2.学術教育部報告
＜協議事項＞
10月開催予定の支部研修会について、オンラインで実施した場合、参加登録やポイント認定などをどうするか確認するメールをして良いものか。
→今年度の支部研修会は中止予定。8月か9月に道士会主催の研修会が開催されると思うので、まずは道士会の動きを見てから確認していく。予定していた支部研修会を地区で開催しても良いかもしれないが、謝金額が支部と地区では異なるため検討が必要。

3.社会部報告

今後の事業予定は、健康安全運転講座(士別市:9月4日、旭川市:9月24日)を開催予定。定員の縮小や、3密を避けてソーシャルディスタンスを保てるよう配慮していく。介護予防のための体力評価ソフト「てんとうむし」のサポート期間が終了し、新たなソフトが開発されていない。各支部社会部長の会議で決まる予定だが、COVID-19の影響で頓挫中。また、10月11日に北海道アダプテッド陸上競技会が開催され、救護班としてPTの派遣を要請されている。コンディショニングに関しては、対象者はインターネットを使用できる環境にありそうなので、web上で行えないか検討していく。

4.地区幹事報告

上川中部地域リハビリテーション推進会議は、書面総会を実施中。上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会は、構成員再任となった。留萌地区の研修会は、9月開催予定であったが、COVID-19の影響により今年度は中止とし、来年度開催予定となった。宗谷地区研修会は、各病院の方針で集まることが困難であり未定。オンラインでの開催を検討中。富良野地区では、HARPの活動は中止となっていたが、地域ケア個別会議が再開となった。介護予防活動は、集団での体操指導やサポーター養成講座は当面の間中止も、地域の虚弱高齢者に個別に介入していく方法で、引きこもりや活動性の低い高齢者に介入していく予定。評価内容を検討中で、開始時期は未定。

5.会計部報告

新会計事務マニュアルに沿って運用中。

6.職能部報告

介護予防事業は、市感染者の動向をみて今後開催していく予定。施設管理者ネットワークについては、退職や異動がある人には連絡をもらうようにしている。道北支部の現在の登録状況は、3割程度。今年度のあさひかわリハビリ体操指導士養成講座については、3級が3か所、1級が1か所で開催予定。

7.その他

次回の役員会議は、10月5日(月)19時からweb内で行う予定。

以上。

文責　事務部書記　松岡　雅也

次号予定

- ✓AcademicPT
- ✓道北支部活動報告
- ✓道北支部掲示板

～編集後記～

もう半年。毎日、コロナ関連のニュースばかりですね。先週からGoToキャンペーンが始まり、旭川やその近郊でもレンタカーをよく見かけます。再来週には、お盆の帰省が始まります。道北近辺はここ数ヶ月、コロナ感染者が出ていなかったので、気をつけながらもやや安心して外出していたのですが、これから1ヶ月ほどは外出がちょっと怖いです。また、しばらく引きこもりの生活になりそうですね。ただただ、旭川やその近郊で感染者が出ないのを祈るばかりです。

問い合わせ先　北都保健福祉
専門学校　近藤　伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp